

事業所名

こぼんはうすさくら広島府中教室（放デイ）

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

11日

法人（事業所）理念		①自己研鑽により質の高いサービスが提供される。自信がつかると自分も満たされる。その結果笑顔が増え、人と笑顔で接することができるようになる。 ②笑顔は人に伝播する。自分の笑顔が子どもに伝わり、家族に伝わり、職員に伝わる。さらに自分自身に返ってくることになり笑顔のサイクルが生まれる。			
支援方針		・ 集団生活の中で多くの経験や体験を通して、人との関わり方やルールや約束等を学び、楽しく日常生活を送れる力を身につけ伸ばしていく。 ・ 集団生活の中で、「できた」経験を積み、様々なことにチャレンジする力を伸ばし、周りに認められながら自己肯定感を高めていけるようにする。			
営業時間		通常 9時から18時まで	学休日 8時30分から17時30分まで	送迎実施の有無	あり ・ なし
支援内容（5領域）					
プログラム	始まりの会・帰りの会	・ 始まりの会は先生の前に座って待ち、挨拶から始めます。その後、今日の活動確認、利用児童の名前を呼びます。始まりの会で、その日どの友だちがいるのかどんな活動をするのかを確認していきます（健康・生活） ・ 帰りの会では、行った活動の振り返りを行います。子ども達に話を振りながら情報の整理をする時間にしています（認知・行動）			
	戸外遊び	・ アスレチックや遊具の使い方や身体の使い方を学べるように声掛けや手本を見せながら支援しています（運動・感覚）（人間関係・社会性） ・ 指導員を中心に子ども達とルールのある遊びを行い、人との関わり方やルールを守りながら遊ぶ経験を積めるようにしています（人間関係・社会性）（言語・コミュニケーション） ・ 楽しく遊ぶことを通して、身体を動かし、心肺機能の向上や筋力の増強を図ります（運動・感覚）			
	すてむぼっくす	・ ブロックの作成を通して、計画力、情報整理能力、言語理解力、協調性等を身につけ、伸ばしていけるように取り組んでいます（運動・感覚）（認知・行動）（言語・コミュニケーション）（人間関係・社会性） ・ 45分内で、導入としての座学→自身で課題作成→完成したものの体験→片付けの流れを通して、整理整頓や「できた」経験を積み自己肯定感を高めていけるように支援します（健康・生活）また、学校の1コマと同じ時間内で課題に取り組むように支援しています。			
	製作	・ 四季に合わせた製作を行い、自然のものに触れられる機会を提供しています。素材の手触りや重さ、形の違いなどを見て、感じられるように支援しています（認知・行動） ・ 製作時にはさみや糊等の使い方や細かい手指の動きを取り入れるように支援しています（運動・感覚）			
	学習支援	・ 課題に取り組む力を身につける為に、学習用プリントやひらがなプリント、コグトレ等を各個人に合わせて用意し取り組んでいます。また、できたときにはしっかりと褒め、自己肯定感を高めていけるように支援しています（認知・行動） ・ 行った課題は各個人のファイルに保管し、取り組んだ課題の過程や成果を後から評価できるようにしています。			
	日常生活動作	・ 来所時に自ら挨拶ができるようになる為に声掛け等し、習慣付けを意識して取り組んでいます（健康・生活） ・ 個々の課題に対して、トイレ誘導やスプーン、箸の使い方、更衣等の声掛けや補助等の支援をしています（健康・生活） ・ 生活の中での挨拶や感謝の伝え方、謝り方等を学べるように声掛け等で支援しています（人間関係・社会性）（言語・コミュニケーション）			
家族支援	・ HUGや送迎時に今日行ったことを伝え、自宅での会話の種を作ります。 ・ お困り事がある際は個別面談を行い、悩みの解消等のお手伝いをします。	移行支援	・ 次の行先への情報提供を行います。また、ご希望に沿って次の行先への情報共有を行います。 ・ 地域の行事に参加しながら、地域の方との関わりを持てるように支援します。		
地域支援・地域連携	・ ご希望に沿って、学校や他事業所、相談支援事業所と情報共有を行い、支援の方向等を調整します。	職員の質の向上	・ web研修や外部研修等を通して、支援の質を高めることや自己啓発を行える環境を整えています。		
主な行事等	・ 祝日の外出行事（昨年度実績：ボウリング、島根海洋館アクアス、工場見学、体験学習等） ・ 夏まつり ・ クリスマス会				